

【はじめの一步】プレゼンテーションアワード用

『はじめの一步』

幼い頃は一步踏み出すことなんて何の躊躇も無くできた。
でもいつからかその勇気さえ持てなくなっていた。

私が中学生の頃、友達同士の間で誰か一人を無視するとい
ったことが日常になっていた。

『嫌だから辞めたいな』

ボソッとつぶやく。

その次の日から私がターゲット。

『おはよう』

『…』

『おはよう』

『…』

何も返って来ない。

ひとりぼっちだった。悲しかった。自分の気持ちを素直に
表現しただけなのにやるせなかった。

ここで私が学んだこと

『本音なんてクソ食らえ』

自分の気持ちをを押し殺すようになった。

大人になって、美容師になってからも何ら変わらない。

仲間が信じられず、上辺だけで付き合う日々。

人のマイナス面ばかりが気になった。

『あの人は技術がない』『遅刻ばかり』『言ったことやらないし』

イライラすることも多かった。

そんな人が好かれるわけもなく、またひとり。

それでも良いと思っていた。人は人、自分は自分。

『一人でもやっていける』そう信じていた。

美容師になり、指名のお客が増えていくのは嬉しいこと。

でも一人でやるには限界がある…。にも関わらず、私はどうにか一人でやろうと必死だった。

『信じれるのは自分だけ…頑張れば大丈夫。自分なら出来る。』

そんな心とは裏腹にお客様からクレームが増えていた。

『何でこんなに待たされるの!?約束の時間どうしてくれるのよ!!!』 せっかкуついた指名のお客様も離れていった。

見かねた先輩が私に声をかける。

『一人でできることなんて本当に少ないんだから、もっと周りを頼りなよ。』

私は反発する。

『そんなのわかってます。』

先輩も引かなかった。

『わかってる!?じゃあ、お客様を待たせることは正解なの!?』

『…』

『あなたはお客様のこと見れてない。でもそれだけじゃない。』

『スタッフみんなのことも見れてない』

『…』

『みんなの良いところ見た方がいいよ』

言い返せなかった。

悔しくて悔しくて悔しくて、それならばとみんなの良いところを書き出そうとした。

『あれっ…書けない。』

まっさらなノートに何も書けなかった。

ショックだった。

『家族より友達より恋人より長い時間一緒にいるのに、私は何を見てきたんだ』自分を責めました。

初めて、『変わりたい』って本気で思ったんです。

それから毎日毎日、みんなの良いところを探すようになりました。

そして、良いところを書き留めていきました。

それがこの"いいねノート"のはじまり。

この"いいねノート"は私にたくさんの気付きを与えてくれました。

ノートにスタッフの名前を書き出し、良いところを発見するたびに書き込んでいく。すると感情にある変化が起こり

ました。

『いつも感じの良い挨拶…ありがとう』『遅くまで練習励んでた…ありがとう』

当たり前だと思っていたことが、有難いことなんだと気づき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

それから、ノートを作ってみるとあることが分かるんです。人によって、偏りがあること。

私が探せた良いところが少ないからと言って、長所がない訳じゃない。

ただ、私とのコミュニケーション量が圧倒的に足りていないだけ。

そんなスタッフには自ら積極的に話しかけるようになりました。

人と上手くやっていくのに『誉めることが有効』以前から知ってはいましたが、行動に移すことができませんでした。

『突然どうしたんだらう!?!』って変に思われるのが恥ずかしい。私にはハードルが高かったんです。

でも、いいねノートなら、誰にも気付かれない。誰にも否定されない。

一年後、皆の良いところでいっぱいになったノートを見たとき、自然とみんなを誉めていました

『はじめの一步』

この“いいねノート”が私の人生を変える一步となりました。

『みく、お客様の雑誌、替えてもらってもいい!?!』

『ざき、次のお客様待たせてるから、一緒にブローしてもらえる!?!』

お客様の表情の変化に気付けるようになりました。

スタッフの動きが見えるようになりました

そして、みんなを頼れるようになりました。

『牛山チーフ、仕事してる時本当にたのしそうですね』

お客様からもスタッフからもよく言われるようになりました。

実際本当に楽しかったし、何より私の目に写るスタッフが常に笑顔!!嬉しかった。

その頃、店長になってみないかという打診が私に来ました。

でもすぐに断ったんです。

自分にスタッフがついてくる自信がなかった。人の上に立つ姿が全く想像できなかった。

ある後輩が聞いてきました。

『チーフは店長にならないんですか!?!』

『えっ、わたし!?!無理無理無理無理!!だって、そんな器じゃないし、出来ないよ』

戸惑いながらそう答えるのが精一杯でした。

『そうですか!?!僕はそうは思いません。チーフが店長になったら全力で支えますよ。』

涙が出るほど嬉しかった。

私の周りには誰もいないと思っていた。私には価値が無いと思っていた。

でも違いました。

心を開けばいつでも受けとめてくれる人たちがいることにやっと気付いたんです。

そう、みんなは変わらずそこにいてくれました。

変わったのは私のところ

人の良いところをみることで、仲間を信じれるようになりました。

そうだ！私はみんなを頼れるっ！そしてみんなも私を頼ってくれる。

私は店長になることを決めました。

『はじめの一步』

この“いいねノート”は人を信じられず、本音を言えなかった私が変わる為に踏み出した小さな小さな一步でした。

でもその一步が大きな大きな未来に繋がっていたんです。

『スタッフを好きになる未来』

『信頼関係を築く未来』

『感情を素直に表現できる未来』

相手のいいところを探し、ノートに書き留める…たったこれだけで私の目の前に広がる世界が輝きました！

いまでも昔の自分が時々顔を出します。

人のマイナス面が目につく自分。

『あー、また言ったことやってないし…何度言ったら分かるんだよー』

そんなときは“いいねノート”を見返すんです。

そして、『駄目だ！駄目だー！さっきの言葉キャンセル』って心の中でつぶやきます。

私に大事なことを思い出させてくれる“いいねノート”は、今では私の御守りです！

『はじめの一步』

一步踏み出したからこそたどり着いた道。

この先も私は、みんなの力を借りて歩んで行きます。

皆さんも踏み出してみませんか!?

『はじめの一步』